

## 教育委員会 1 月定例会会議録

1. 日 時 平成31年1月22日(火)午後4時00分～
2. 場 所 ウララⅡ(7F)会議室1
3. 出席委員 教 育 長 井 坂 隆  
委 員 説 田 賢 哉  
委 員 松 延 芳 子  
委 員 今 野 登 喜 子  
委 員 鈴 木 敏 之
4. 委員以外の出席者  
教 育 部 長 服 部 正 彦 参 事 菊 地 正 和  
教 育 総 務 課 長 平 井 康 裕 学 務 課 元 川 宏  
文 化 生 涯 学 習 課 佐 賀 憲 一 スポーツ振興課 根 本 卓 也  
国 体 推 進 課 北 島 康 雄 指 導 課 鶴 田 由 紀 子  
博 物 館 木 塚 久 仁 子 上 高 津 貝 塚 黒 澤 春 彦  
教 育 総 務 課 係 長 塚 本 富 美 代
5. 議 題
  - (1) 議 案  
議案第43号 第2期土浦市教育情報化計画の策定について (指導課)
  - (2) 報告事項
    - ①平成31年度の学級編制方針について (学務課)
    - ②平成31年度土浦市立幼稚園園児数見込 (学務課)
    - ③第58回土浦市社会・婦人学級生大会及び第36回土浦市家庭教育のつどいの開催について (文化生涯学習課)
    - ④博物館第40回特別展「町の記憶ー空都土浦とその時代」の開催 (土浦市立博物館)
    - ⑤テーマ展「土浦の遺跡24 平成29年度遺跡調査の成果ー古代のむらと中世寺院ー」の開催 (上高津貝塚ふるさと歴史の広場)
    - ⑥第42回子ども郷土研究について (上高津貝塚ふるさと歴史の広場)
    - ⑦市内スポーツ施設へのネーミングライツ事業スポンサーの再募集について (スポーツ振興課)
  - (3) その他
6. 傍聴者 なし
7. 議事内容

教 育 長 定刻でございますので1月の定例会を始めます。次第に沿って進めていきたいと思  
います。

では、教育長報告、お願いします。

————— 12月27日以降の行事について報告 —————

ありがとうございます。

それでは、議案の第43号 教育情報化計画の策定について、指導課お願いします。  
資料4ページをお願いいたします。

指 導 課

「第2期土浦市教育情報化計画」の策定についてでございます。1、策定の趣旨にございますとおり、本市教育における情報化教育計画につきましては、2014年、平成26年3月に「第1期の土浦市教育情報化計画」を策定しまして、2014年度から2018年度の5年間の計画期間において、学校現場へのICT機器整備を段階的に進めまして、児童生徒の情報活用能力の向上や教職員の指導力向上のために努めてまいりました。

「第2期土浦市教育情報化計画」は、第1期の計画を基盤としまして、児童生徒の情報活用能力や教職員の指導力向上をさらに推し進め、2020年代にふさわしい学校教育の実現を目標とし、策定を進めております。学校現場の負担軽減、無駄のないICT機器整備を実施し、本市での教育の情報化の指針を示すものとなっております。また、計画の期間につきましては、第1期計画を踏襲し、2019年度、来年度から2023年度の5年間とすることと定めております。

なお、関係各課との協議を踏まえまして、資料1としてご用意いたしましたこの計画の案を策定し、このたび教育委員の皆様にご協議いただいたのち、3月にパブリックコメントを実施しまして、市民の皆さんの意見の反映に努める計画でございます。

計画の概要につきましては、5ページをお願いいたします。横版でございます。

第1章、こちらはただいまご説明した内容でございます。第2章は、国の動向や市の現状についてでございます。第3章、(1)にありますとおり、第1期の計画は、教職員が、先生方が日常的に活用するということを目標としておりましたが、第2期のほうとしましては、教職員の活用だけでなく、全ての子供たち自身が情報活用能力を高められるよう、そういった情報活用能力の向上を目指す計画と考えております。また、(2)にございますとおり、教科の指導や小中一貫教育の推進、特別支援教育などの観点で適切にICTを活用できるよう、大きく7項目で構成するものでございます。詳細につきましては、資料1の第2期土浦市教育情報化計画の案、こちらの別冊のほうをご参照いただきたいと思いますのですが、21ページ、こちらについて簡単に触れさせていただきます。

こちらはただいま申し上げました細かい計画、柱立てにつきまして、今後のスケジュールについて整頓したものでございます。大中小の項目と成果目標を一覧にしまして、それぞれの年度、項の中での計画を21ページ以降で示してございます。こういった案をもとに、ICT機器の整備、それに伴いまして指導力の向上、児童生徒の情報活用能力の向上に寄与できるような具体的な計画になるよう進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

教 育 長

ありがとうございます。情報教育関係の計画についてですが、これは案ですよ。2月にさらに詳しいのが出る。

指 導 課

3月にパブコメをした後、4月にはまた改めてさまざまなご意見をいただいたのをもとに、正式なものを策定いたしまして、改めてお示ししようと考えております。

教 育 長 策定スケジュールとしてはどうなっていますか。  
 指 導 課 策定は今年度中です。  
 教 育 長 策定は今年度中で、パブリックコメント後、4月ということですか。  
 指 導 課 お示しするのが改めて4月になります。  
 教 育 長 わかりました。何かございますでしょうか。情報教育が大分加速していますので、5年間がいいかどうかということもあるんですが、スパンとしては5年間ということ考えているということです。この方向で進めてよろしいでしょうか。

説 田 委 員 はい。  
 教 育 部 長 ご報告として、進行管理のところが抜けているので、後でそれを書き加えて提案とさせていただきますと思います。

教 育 長 ありがとうございます。それでは、教育情報化計画についてはこの程度にして、報告事項が7点ございます。①平成31年度の学級編制方針について、学務課お願いします。

学 務 課 定例会資料の6ページをお願いいたします。  
 平成31年度の学級編制方針についてでございますが、学級編制につきましては、法改正により平成24年度からその権限が市町村に移譲され、本市では、資料の下の部分、丸印で記載させていただいております「茨城方式」を採用して実施しているところでございます。茨城方式につきましては、国の基準では、小学校1年生のみとしている1学級35人の少人数学級を小学2年生まで拡大するとともに、国の基準で1学級40人とする小学校3年生から中学校3年生までの各学年において、36人以上の学級が3学級以上となる場合には1学級増やし、学級編制の弾力化などを行うものでございまして、こちらにつきましては、義務教育学校前期課程、後期課程においても、それぞれ小学校、中学校と同様に扱うものでございます。平成31年度の学級編制におきましても、これまでと同様、この茨城方式により実施したいと存じますので、よろしくをお願いいたします。  
 なお、現時点での平成31年度の児童生徒数及び学級数の見込みでございますが、小学校及び義務教育学校前期課程の児童数は6,754人、学級数は282学級で、今年度との比較では、児童数が186人の減、学級数が3学級の減となる見込みでございます。また、中学校及び義務教育学校後期課程の生徒数は3,475人、学級数は129学級で、本年度、平成30年度との比較では、生徒数が27人の増、学級数は2学級の増となっております。  
 小学校及び義務教育学校前期課程におきまして、児童数、学級数が減少しているのに対して、中学校及び義務教育学校後期課程において、生徒数、学級数が増加しているのは、現在の6年生の学年が他の学年と比べまして人数が多い学年となっており、その学年が中学校に進学することによるものと考察されます。  
 特別支援学級の児童生徒数及び学級数につきましては、小学校及び義務教育学校前期課程と中学校及び義務教育学校後期課程のいずれにおきましても、増加傾向にございます。

教 育 長 ありがとうございます。そうすると平成31年度は小中合わせて1万300人くらい、足せばいいんですよね。6,754たす3,475だから1万229人、1万人台になっ

たということですね。何かご質問ございますか。

説田委員

このお話とは直接は関係ないんですけども、教育委員会のほうで、6年生が公立の中学校に行く割合とか私立に行く割合というのは把握しているんですか。傾向というか。要は、公立に行かないで私立に行く率が増えているのか、減っているのかみたいな統計というのはされているんでしょうか。

指導課

調査はしておりますが、経年変化等について、現時点で即答はできないです。

説田委員

参考までに、言葉は悪いですけども、公立離れのものがあるのか、ないのかというところを参考までに聞きたかったということで、何らかの機会のときに教えていただければ。

教育部長

次回でいいですか。

説田委員

はい、ありがとうございます。

教育部長

次回までには。

教育長

基本的に、茨城県南部の場合トップは東京に行っている。つくば駅周辺や、土浦駅からも。私立の中高一貫校もたくさんありますので。取手市、土浦市、つくばにも、公立はある。ということで、昔よりは私立のほうが大分増えていると。だからこの1万2,000とか1,000の話をししましたけれども、現在の市立の中学校の生徒数が減少している。統計的な数値は後で調べていただければと思います。茨城県はまだ少ないほうで、東京都は4割とか5割が私立に行くような小学校もあるみたいです。よろしいでしょうか。

説田委員

ありがとうございます。

教育長

そのほかございますか。では、②番、市立幼稚園園児の見込み数。

学務課

定例会資料7ページになります。お願いいたします。

平成31年度土浦市立幼稚園園児数見込みについてご報告させていただきます。公立幼稚園につきましては、土浦市立幼稚園の再編計画に基づき、平成29年をもって、土浦第二幼稚園、都和幼稚園、大岩田幼稚園の3園が廃止されまして、平成30年度、今年度より、土浦幼稚園、新治幼稚園の2園に再編されたところであり、この2園につきましても、3年後の2022年3月末をもって廃止予定となっております。

資料の上の表をご覧ください。こちらが来年度、平成31年度の園児数、学級数の見込みになります。まず、表中の年少の欄が来年度に入園する園児数と学級数で、土浦幼稚園が21人、新治幼稚園が4人、それぞれ1学級ずつとなる見込みでございます。その右の年長の欄と合わせると、土浦幼稚園は園児数52人、3学級、新治幼稚園は園児数14人、2学級、2園合計で66人、5学級となる見込みでございます。なお、下の表は参考といたしまして、今年度、平成30年度当初の公立幼稚園の園児数、学級数を掲載させていただいたもので、今年度と来年度、平成31年度を比較いたしますと、学級数5学級に増減はございませんが、園児数につきましては、土浦幼稚園で11人、新治幼稚園で15人、合計で26人が減少となる見込みでございます。

また、支援を要する園児数につきましては、今年度、平成30年度、土浦幼稚園と新治幼稚園合わせて19人おりましたが、来年度は2園合計で9人、今年度よりも10人減少となる見込みでございます。

教 育 長                    ありがとうございます。  
 松 延 委 員                質問ですけれども、クラス区分ですが、年少、年長という言い方は正しかったでしょうか。私立だと、年少、年中、年長で、公立は2年保育ですよ。4歳児、5歳児という言い方なのかなというふうに認識していたんですが、これはこれで正しいのでしょうか。

学 務 課                    これで正しいのかどうかというのは、例年この表記で報告させていただいており、そこまで担当として疑問を持たずにこういう表記をさせていただいてしまっているので、この辺は確認をさせていただきたいと思います。

教 育 部 長                恐らく、2年保育ですと中間がないので、年少、年長でずっと来ていると思います。3年保育だと3段階になるので、年中というのが入ってくると思うんですが、それですと来ていますので、適切かどうか、3年保育が主流になってきている所もあるので、いい機会なので再確認をさせていただきます。

松 延 委 員                わかりました。ありがとうございます。  
 今 野 委 員                要支援の子が10人減っているというのは、全体数が少ないということももちろんあるでしょうが、私立のほうでの受け入れ体制ができてきたということもあるのでしょうか。

学 務 課                    そちらは土浦市幼稚園連絡協議会で、私立認定こども園、幼稚園、各園の代表の方との話し合いを継続しているところなので、受け入れの方はこちらが願う立場で、ただ、実際に受け入れていただいているかどうかまでは調査をしていないので、具体的にそのせいで減っているとか、そういったことは申し上げられませんが、今回の減につきましては、今年長のクラスにいらっしゃる支援を要する方の人数が14名ということで、比較的が多い学年と申しますか、その年代の方が今度卒園することに伴って減少すること、新たに入ってくる方で今のところ支援を要する園児の方が全部で4名ということで、差引で減っているような状況でございます。私立幼稚園あるいは認定こども園の方で受け入れていただいているかどうかというのは、なんとも一概には申し上げられないです。

教 育 部 長                それは公立と私立の幼稚園の園長さんに集まっていたいただいている協議会をつくっていますので、そこで調査をかけて実態の動向も確認していきたいと思います。定点的にはやっているんですけれども、私立幼稚園での支援を要する園児の数については一回調査をしていますので、その後の変化がどうなのかは確認してみたいと思います。

教 育 長                    では、よろしく願いいたします。次に進んでよろしいですか。  
 ③第58回土浦市社会・婦人学級生大会及び第36回土浦市家庭教育のつどいの開催について、文化生涯学習課お願いします。

文化生涯学習課            資料8ページをお願いいたします。  
 毎年開催しております社会・婦人学級生大会、それから家庭教育のつどいがございます。例年、土浦市民会館のほうで実施をしておりましたが、工事の関係で、今回亀城プラザにおいて2月16日に開催をするものでございます。社会婦人学級につきましては、各地区ごとに10学級、約313名の地域の方々が自主的に学習活動をしているものでございます。

家庭教育学級につきましては、市内の公立の幼稚園、小学校、中学校、各学校ごとに開設をしております、26 学級、約 8,500 名の方々が担当しているところでございます。

学級生大会、家庭教育のつどいにおきましては、まず、合同の開会式を行いまして、その後それぞれに分かれて日ごろの学習成果を発表するものでございます。ことしの事例発表につきましては、母の会婦人学級・下高津婦人学級、それから家教のほうでは、新治幼稚園と新治学園義務教育学校が発表をするものでございます。

教 育 長  
博 物 館

ありがとうございます。よろしいでしょうか。次、博物館お願いします。  
定例会資料の 9 ページをお願いいたします。

博物館では、第 40 回特別展として「町の記憶－空都土浦とその時代」を開催いたします。この展覧会では、土浦の町の形成に大きな影響を与えた二つの航空隊と土浦のかかわりを紹介いたします。土浦はかつて「空都」とも呼ばれ、戦争に向き合い、歩いて来た道を人々の記憶と展示資料からたどる展覧会です。大正末期から昭和初期にかけて、霞ヶ浦海軍航空隊と土浦海軍航空隊の影響を受けて、新市街地の造成や新たな産業の誕生など土浦は大きく変化しました。昭和初期はアジア太平洋戦争に直面した時代でもあり、博物館では、戦後 70 年に当たる平成 27 年度から市民の記憶収集事業として戦争に対する聞き取り調査を行ってまいりました。この展覧会では、この成果を反映しながら、町の歩みと人々が直面した戦争について考えます。講演会のほか、海軍航空隊の面影や戦争の記憶をたどる史跡めぐり、予科練生の記憶をまとめた映像の上映会、展示解説会などを行います。どうかおいでください。

教 育 長

ありがとうございます。3月16日から5月6日まで第40回の博物館特別展でございます。ご質問ございますでしょうか。この、タイトルは空都（クウト）と読むんですか。

博 物 館  
教 育 長

はい、空都です。  
わかりました。続いて、上高津貝塚ふるさと歴史の広場で「土浦の遺跡 24」  
お願いします。

上高津貝塚

テーマ展についてご報告いたします。定例会資料 10 ページをお願いいたします。  
3月19日から5月6日にかけて、「土浦の遺跡 24 －古代のむらと中世寺院－」と題し、平成 29 年度に調査した 4 遺跡について、その成果を公開いたします。関連事業といたしまして、学芸員による調査遺跡の発表会や学習講座、史跡めぐり、展示案内会、植物観察会を予定しております。

教 育 長

3月19日から5月6日までのテーマ展でございます。よろしいでしょうか。ありがとうございます。続きまして、⑥第 42 回子ども郷土研究について、お願いします。

上高津貝塚

第 42 回子ども郷土研究について、ご報告いたします。定例会資料 11 ページをお願いいたします。

本日お配りしました冊子が収録集でございます。最優秀賞と優秀賞 5 作品を掲載しております。今回は 7 校から 22 作品が応募され、2 回の審査を行って入賞作品を選びました。今週 26 日土曜日に表彰式と発表会を行います。また、全作品につき

ましては、26日から2月17日まで資料館において展示し、最優秀作品につきましては、市報2月上旬号に掲載する予定でございます。

教 育 長  
上高津貝塚  
教 育 長

ありがとうございます。お手元に冊子があると思います。山口君は連続ですよ。小学校4年生から応募しております。今回完結編ということで最優秀作品に。この作品は、大学生の卒論みたいな感じになっていますよね。市報にも出る予定で、第五中学校、沖宿の生徒です。語りが面白いので、本人のスピーチを聞いたほうが面白いと思いました。

それでは次、⑦ネーミングライツお願いします。

スポーツ振興課

資料12ページをお願いします。

市内スポーツ施設へのネーミングライツ事業スポンサーの再募集ということで、スポーツ施設11施設につきましては、10月の定例会でも報告させていただきましたが、11月1日から12月14日まで募集いたしました。その結果、佐野子の市民運動広場については応募がありました。こちらについては、現在契約に向けた手続きを進めているところでございます。

つきましては、応募のなかった残りの10施設、下記の10施設につきまして、1月8日から今月いっぱい、1月31日まで再募集を行うこととしております。なお、再募集期間内、1月31日までに応募がなかった場合、こちらにつきましては、2月1日以降、期間を設けず随時応募を受け付けるということで、引き続き民間企業との協働により施設の魅力度の向上及び歳入の確保を図ってまいりたいと考えてございます。

教 育 長

ありがとうございます。新聞報道によると、県の施設でもネーミングライツが始まったということです。すでに決まっているものは出さないんですか。

スポーツ振興課  
教 育 長

まだ契約してないので。

大分時間がたっているので、一つでも出しちゃったほうがよさそうな気がするんですけども。

スポーツ振興課

看板の位置とかそういった調整を今やっているところでして、それが決まってから契約になります。

教 育 長

決まっているなら、報告しちゃっていいんじゃないですか。

スポーツ振興課

選考されたということです。

教 育 長

選考されたのはどこですか。

スポーツ振興課

一誠商事でございます。ですから佐野子の市民運動広場は4月1日以降、一誠商事市民運動広場とか。

教 育 長

橋の上から見える所ですね。

スポーツ振興課

そうです。6号のパイパスと学園線沿いの。今ネーミングライツの名前の看板で予定でございます。契約がまだしてないので、公表のほうはまだしてないというような状況です。

教 育 長

色々見えてくると、ほかの企業も乗り出すということで、弾みがつく。全体が景気づけ（ムード作り）が大事なのでよろしくをお願いします。

あれ、個人でもいいんでしょう。だめなんですか。

スポーツ振興課

個人だと名刺広告みたくになってしまうので、個人では出せない。

教 育 長

わかりました。

これで報告事項はすみましたが、5番その他、ございますか。では、次回の日程を。

教育総務課

次回の日程と、追加でご報告させていただく案件がございます、日程を連絡させていただきます。2月は議会の前の月でございます、1週早まりまして、2月19日火曜日午後4時からということをお願いしたいと思います。2月19日火曜日の午後4時からになります。

教 育 長

それでは、以上で終わります。ありがとうございました。